

2021年3月期 ミニ ディスクロージャー誌

くましんの現況 2021



上記写真は、当金庫Facebook、Instagram上に掲載している飲食店等応援企画写真の一部です。詳しくは当金庫Facebook、Instagramをご覧ください。

お役立ち しんきん



熊本信用金庫

2020年度(2021年3月期)の業績につきまして

ご挨拶

平素より皆様方には格別のご愛顧・お引立てを賜り、厚く御礼を申し上げます。本年もミニディスクロージャー誌「くましの現況2021」を作成いたしました。本誌では、当金庫の経営方針や業務・財務の内容についてできる限り分かり易く開示させて頂くこととしており、当金庫についてのご理解の一助になれば幸いですと考えて作成しております。なにとぞご高覧頂き、ご理解を深めて頂きますと共に、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 井星 伸一

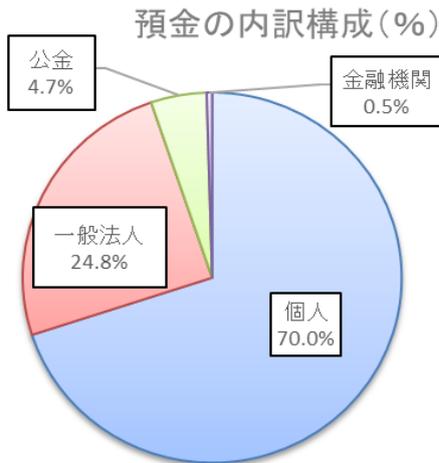
当金庫のプロフィール

(2021年3月末現在)

創 業	大正12年8月29日
出 資 金	1,089百万円
預 金	176,193百万円
貸 出 金	101,478百万円
会 員 数	16,257名
店 舗 数	16店舗
役 職 員 数	163名
営 業 区 域	熊本市、宇土市、八代市、荒尾市、 山鹿市、菊池市、玉名市、宇城市、 阿蘇市、合志市、上益城郡、 下益城郡、八代郡、菊池郡、 阿蘇郡、玉名郡

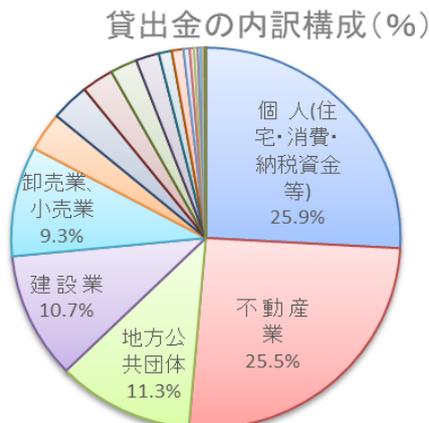
総預金 2020年度 **123億5千7百万円** 増加

お客様からお預かりした大切な預金は、皆様から信頼をいただいている証であり、当金庫ではお客様の大切な財産を安全・確実に運用しております。総預金残高**1,761億9千3百万円**の内、個人預金が**70.0%**を占めております。



貸出金 2020年度 **95億6千9百万円** 増加

当金庫はお客様からお預かりした大切な預金を、地域経済の活性化、持続的発展のために、資金供給という形で還元させていただいており、2020年度の貸出金期末残高は**1,014億7千8百万円**となっております。



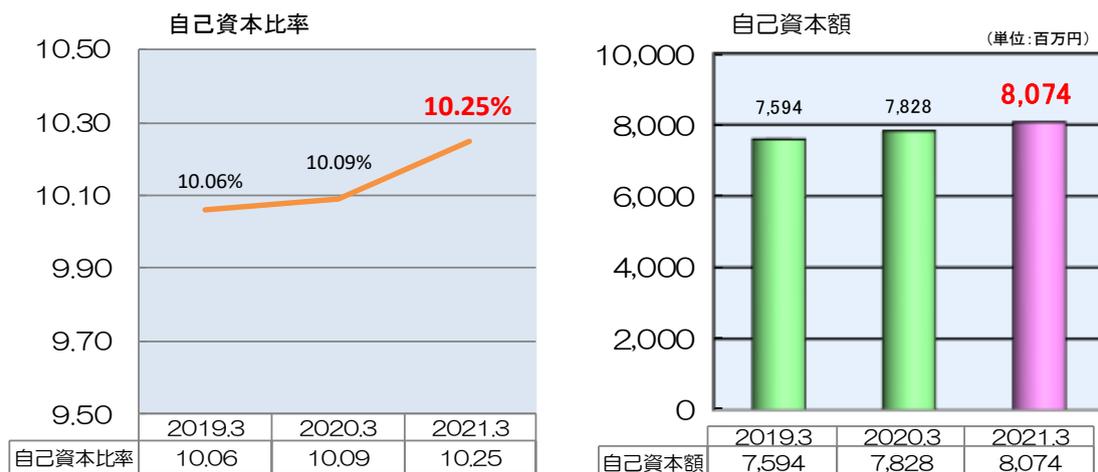
当期利益 2020年度 **3億3千8百万円** 計上

健全な融資の推進、リスクの少ない堅実な資金運用、経費削減など、経営体制の強化に努めた結果、2020年度の当期利益は、前期比12%減少の**3億3千8百万円**を計上することが出来ました。



自己資本比率 2020年度 **0.16%** 上昇

今期も内部留保の積み増し等により、自己資本額を増やすことが出来、2020年度の自己資本比率は、国内基準の4.0%を上回る**10.25%**となっております。



不良債権比率 2020年度 **0.20%** 低下

金融再生法上の不良債権額は、前期に比べ1千9百万円減少の19億6百万円となり、不良債権比率は**1.85%**となりました。

不良債権の状況		金融再生法開示債権額と保全状況		
		2018年度 (2019年3月期)	2019年度 (2020年3月期)	2020年度 (2021年3月期)
不良債権比率	金融再生法上の不良債権 (A)=(i)+(ii)+(iii)	2,063	1,925	1,906
	破産更生債権等 (i)	550	351	282
	危険債権 (ii)	1,513	1,573	1,623
	要管理債権 (iii)	-	-	-
	正常債権 (B)	89,358	91,554	100,931
	合計額 (C)=(A)+(B)	91,422	93,479	102,837
	不良債権比率 (D)=(A)/(C)	2.25%	2.05%	1.85%
	保全額 (E)=(iv)+(v)	1,744	1,643	1,690
	貸倒引当金 (iv)	302	277	281
	担保・保証等 (v)	1,441	1,365	1,409
保全率 (F)=(E)/(A)	84.52%	85.33%	88.71%	
担保・保証等控除後債権に対する引当率 (G)=(v)/((A)-(v))	48.66%	49.56%	56.69%	

なお、詳細につきましては、店内に備え付けられているディスクロージャー誌やHP (<http://www.kumamoto-shinkin.jp>) 等をご覧ください。

コロナ禍での対応状況につきまして

中国に端を発した新型コロナウイルス感染症は、2020年1月に国内でも感染が確認され、以降、感染拡大、収束を繰り返しながら、いまだ完全には終息の兆しが見えず、我が国経済に大きな打撃を与えています。県内でも複数のクラスターが発生するなど感染状況は予断を許さず、当金庫取引先においても、売上減少、コロナ対策費用の増加等、業況への影響が大きくなっております。そのような状況の中、当金庫としては、アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、感染防止対策を徹底するとともに、取引先に対する円滑な資金供給や各種補助金情報の提供、本業支援としての売上増加・販路拡大策の相談など、今後も取引先に寄り添った伴走型支援を強化していきます。

感染症対策



取引先支援

取引先支援策として、新型コロナウイルス感染症対応資金を始めとする円滑な資金供給および柔軟な条件変更の実施、よろず支援拠点コーディネーターによる個別相談会の実施、GW期間中の「休日相談窓口」の設置、渉外担当者による各種補助金の紹介、当金庫Facebook上での取引先飲食店紹介等、様々な取り組みを行っております。

《新型コロナ関連相談を含む2020年度のよろず支援拠点経営相談会の取組み状況》
2020年4月3日（第251回）から2021年3月24日（第299回）までの実施回数49回
相談企業者数：30企業者（2020年度 新規相談企業者のみの累計）
場 所：くましんビジネスサポートプラザ（BSP）
開催日：毎月4回 1日5件迄
時 間：1時間30分個別相談
講 師：栗田博成氏（熊本県よろず支援拠点コーディネーター）

また、取引先の資金繰り支援は勿論のこと、新しく有益な情報提供や提案を取引先に適時適切に提供することも重要であると考え、渉外担当者のスキルアップを図るため、外部講師等による研修（写真右）も適宜実施しております。



マスクプロジェクトへの参加

「副業でみんながつながる熊本産マスクプロジェクト（注）」に参加し、介護施設等に手作りマスクを配布致しました。
（注）プロジェクト概要：新型コロナウイルス感染症問題により収入減等の影響を受けている熊本県民の皆様が手作りしたマスクを主催者である「熊本地域金融・経済懇話会」が買い取り、熊本県内の事業者・団体や個人に無料で配布するプロジェクト。当金庫はこのプロジェクトに賛同し、実施主体としてマスクの買い取り、配付に協力しました。

